

会 議 録

会議の名称	坂戸市立桜中学校 第2回学校運営協議会		
開催日時	令和4年11月16日(水) (開会) 10:00 (閉会) 11:45		
開催場所	坂戸市立桜中学校 図書室		
出席者氏名(委員)	松下会長、木村副会長、古園委員、井上委員、佐藤委員、石田委員、市川委員、増田委員、永田委員		
欠席者氏名(委員)	宮崎委員		
議 題	(1)これまでの教育活動について ①埼玉県学力学習状況調査結果、桜中学校における学力向上策 ②生徒指導・教育相談の状況、学校いじめ防止基本方針等 ③合唱祭、部活動等 (2)その他		
協 議 等 要 旨	協 議 結 果	意 見 の 概 要	
	(1)① ・桜中学校の学力の状況を確認 ・桜中学校の学力向上策を了承	・学年で差はあるものの、調査結果はおおむね坂戸市平均を上回っている。県平均と比べるとまだ努力が必要である。 ・学力向上策として、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた校内授業研究会、生徒が意見を発表し認め合う朝鑑賞、授業における効果的なICT活用の研究の3つに取り組んでいる。 ・端末を家庭に持ち帰り学習に使用しているとのことだが、学校での学びが家庭でのコミュニケーション増加につながるとよい。	
	(1)② ・1学期の桜中学校の暴力行為、いじめ、不登校の状況を確認 ・桜中学校いじめ防止基本方針を了承	・不登校生徒が多いことが課題であるが、生徒や家庭とのつながりを切らず、個に応じた対応を粘り強く行っていく。 ・いじめの法律に沿って対応を進めていく。 ・いじめはアンケートと生徒の訴え、教員の観察により発見している。 ・道徳授業を教員の輪番制で行うことは、生徒に色々な教員の見方を提示でき有効である。	
	(1)③ ・10月の合唱祭、これまでの部活動等の活躍を確認	・合唱祭当日、外部の方から「立派な合唱祭。特に鑑賞態度が素晴らしい。」という評価をいただいた。 ・部活動では関東大会に出場する部が多かった。また、上位大会進出の部活に限らず、それぞれの部活動において生徒が力を伸ばしている。 ・運動部に限らず文化的な取組でも生徒が活躍していることは素晴らしい。生徒に自信が付き次につながっていく。	
	(2)その他 ・停止中の制服バンクを、学校応援団が再開することについて了承 ・給食費の現状について確認	・制服バンクの再開は、経済困窮家庭への支援に有効であり、何より生徒自身が助かる。 ・給食費未納家庭への催促業務は、教員の仕事ではない。給食費については、来年度以降も無償化が望ましい。 ・学区内の見通しが悪い道路で、自転車で帰校中の部活動の生徒が、安全に気を配りながらも、道を譲った地域の人に丁寧に頭を下げていたことがあった。この生徒たちの判断力と道徳心の高さは、常日頃の教員からの指導の賜物である。 ・本校生徒が、交通ルールを守っている。その姿は小学生の良きお手本となっている。	
配 布 資 料	(1)埼玉県学力学習状況調査結果 (2)桜中学校における学力向上策 (3)生徒指導・教育相談の状況 (4)学校いじめ防止基本方針 (5)学校だより(4～7号) (6)合唱祭のしおり (7)桜中学校制服バンクについて (8)給食について (9)令和4年度 行事予定表		